

生産性向上支援訓練カリキュラム

A. バックオフィス	ChatGPTでビジネスに効果的な使い方を学ぼう！
新技術活用	生成AIの活用

コースのねらい	生成AIの概要とビジネスの現場における、具体的な活用シーン等について理解し、AIと協働することによる業務の質とスピードを高める技術を習得する。
---------	---

対象	(中堅・管理者層向け) ・ChatGPTの活用事例を知りたい方 ・生成AIのリスクやメリット・デメリットを知りたい方
----	--

「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
1 生成AIの概要	(1) AIの基礎理解 ・生成AI(ChatGPT)の作られ方の概要 (機械学習、大規模言語モデル(LLM)) ・生成AI(ChatGPT)の実用化が与える影響の大きさ ・生成AI(ChatGPT)活用の成功例 (2) 生成AI(ChatGPT)利用における注意点 生成AI(ChatGPT)利用における以下リスクや注意点を解説する ・法的リスク(著作権等) ・倫理的配慮I(悪用) ・安全性(機密情報保持) (3) 生成AI(ChatGPT)が得意とすること、苦手とすること、利用時のコスト ・生成AI(ChatGPT)が得意とすること ・生成AI(ChatGPT)が苦手とすること ・利用におけるコツ(プロンプトエンジニアリング) ・代表的な生成AI(ChatGPT)の特徴の紹介 (4) 生成AI(ChatGPT)の基本操作 ・効果的な質問作成 ・条件指定による精度向上 ・要約・言い換え	2.5
2 生成AIの活用事例と今後の展望	(1) 無料版でもここまでできる ・無料版と有料版の主な違い ・業務利用時の留意点 ・企業で導入する場合の考え方 ・管理上の留意点 (2) 文章業務への活用 以下の生成演習、解説 ・メール文作成 ・長文要約、議事録作成 ・企画書・提案書作成(画像生成含む) (3) 企画・発想支援 ・アイデア出し ・ペルソナ設計 ・競合分析 ・差別化整理 (4) 業務効率化演習 ・RAG(社内資料をAIに学習させ、生成時の参考にさせる方法) ・マニュアル作成支援 ・FAQ生成 ・社内ルール作成の必要性 ・生成AI利用の習慣化までのハードル (5) 今後の展望 ・発展の方向性(リアルタイム性等) ・生成AIのインフラ化 ・アシスタント化	3.5
演習	・生成AIのトライアル利用 ・自業務における生成AI利用における想定リスクの洗い出し ・プロンプトエンジニアリングを意識しない場合とした場合の結果の比較体験 ・文章、画像生成、要約	基本項目に含む
合計時間		6.0

カリキュラム作成のポイント	本カリキュラムは、「理解」だけでなく「できる状態」まで到達する設計としています。講義約2割・演習約8割の実践重視型とし、質問設計、文章作成、企画立案、業務整理まで段階的に習得します。各項目に「ねらい・内容・演習」を明確化し、生産性向上との関連を可視化。さらに、個人情報や著作権など安全面も確実に押さえ、成果物確認と発表を通じて定着を図る実効性の高い構成です。
---------------	---

備考	・受講生のPCは、用意致します OS:Windows10or11
----	----------------------------------